

第4号議案 2015年度事業計画

(1) 2015年度事業計画

1) 第58回定時総会

- ・2015年6月17日(水)一橋講堂中会議室にて第58回定時総会を開催する。(1stICAI(The 1st International Conference on Advanced Imaging)会場)

2) 出版関係

日本画像学会誌：2015年度分6冊を発行する。

- ・2014年度と同様、全英文論文掲載のクラスタ論文誌を本年度も予定している。
- 学会50周年記念出版ではなく新規出版として先々の4冊に加え、「有機半導体」、「3Dプリンター」の2冊の刊行を計画している。2015年11月のICJ Fallで発行する予定である。

3) The 1st International Conference on Advanced Imaging (ICAI2015)

- ・ICAI2015(兼ねる：日本画像学会年次大会-通算第115回)を2015年6月17日(水)、18日(木)、19日(金)の3日間、一橋大学一橋講堂(学術総合センター)にて開催する。
- 本大会は映像情報メディア学会、日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会5学会の共同開催で行う画像国際会議である。

(企画・運営：ICAI国際会議組織委員会、当学会幹事会社：キヤノン株式会社)

4) Imaging Conference JAPAN 2015 Fall

- ・Imaging Conference JAPAN 2015 Fall(第116回日本画像学会研究討論会)を2015年11月19日(木)~20日(金)京都工芸繊維大学にて開催する。この大会は画像関連連合会(*1)としての第2回目の合同大会であり2014年の合同開催を踏まえて、セッション構成、運営等に改革を行う予定である。

(企画・運営：関西委員会)

(*1)日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会の4学会で構成

5) シンポジウム (年間2回)

- ・関西シンポジウム：2015年5月15日(金)ハートピア京都にて開催の予定 (企画・運営 関西委員会)
- ・東京シンポジウム：2015年12月4日(金)発明会館にて開催の予定 (企画・運営：電子写真技術部会)

6) 技術講習会 (年間2回)

- ・第79回技術講習会：2015年7月16日(木)-17日(金)東京工業大学すずかけキャンパスにて開催する。

(企画・運営：事業委員会)

- ・第80回技術講習会：2014年11月19日(木)京都工芸繊維大学にて開催する

(企画・運営：関西委員会)

7) フリートーキング “Imaging Today” (年間2回)

- ・学会誌 Imaging Today の執筆者を講師として気軽なトーキングの会を2014年中に2回程度開催予定。

- ・第27回フリートーキング：2015年7月24日 ・第28回フリートーキング：2016年1月29日

(企画・運営：編集委員会)

8) 技術研究会

- ・技術委員会の部会毎に研究会等を開催予定。現時点での開催予定は次のとおりである。

2015年8月26,27日：3Dタスクフォース研究会(画像関連学会連合会)

2015年9月11日(発明会館)：インクジェット技術研究会

2015年10月9日：トナー技術研究会

2015年10月20日：電子ペーパー研究会

2015年12月4日：電子写真技術シンポジウム

9) イメージングカフェ

- ・平日夕方の時間帯で仕事帰りに気軽に立ち寄り最新技術，昔話，他分野情報，専門知識などのテーマで講師からの話を聞き、意見交換ができる交流空間を昨年度に引き続き開催する予定。15年度も東京以外に関西地区での開催を予定。開催要項案は以下の通り。
- ・開催日・時間：水曜日または金曜日、18:30～20:30 ・会場：恵比寿カルフル
- ・参加資格：原則として日本画像学会個人会員。1週間前に空席がある場合は個人会員外（非学会員も含む）の参加を受け付ける

10) 関連学会との交流

- ・昨年発足の画像関連学会連合会発の研究活動として3Dタスクフォースを始動し、8月に研究会を開催
- ・米国画像学会 IS&T が開催する国際学会 NIP31 (2015年9月27日～10月1日、ポートランド) に協賛するとともに、この準備会議に本年も協力する。
- ・ICAI 開催を契機として国際交流委員会が中心となり、中国、韓国、アジアパシフィック地域の画像関連学会とで年次大会等への講師・参加者の相互参加、学会誌への相互の活動状況紹介等によりイメージング材料と技術に関する交流を継続する。

(3) 2015年度 予算案

2015年度 日本画像学会収支予算

自 2015年4月1日 至 2016年3月31日

科目	2015年度当初予算	2014年度当初予算	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①正会員会費収入	8,000,000	8,000,000	0	
②維持会員会費収入	13,000,000	13,000,000	0	
③事業収入				
研討・研究会参加費	4,700,000	9,500,000	-4,800,000	ICJ未開催。実績+新規1研究会で見直し
講習会参加費	3,900,000	3,700,000	200,000	昨年度実績考慮
試験標準品頒布収入	5,000,000	5,000,000	0	
予稿集・技術資料頒布収入	200,000	300,000	-100,000	実績考慮
出版物頒布収入	250,000	1,000,000	-750,000	新規出版収入分を見直し
会誌購読・BN頒布収入	1,100,000	1,100,000	0	
広告収入	700,000	1,400,000	-700,000	ICJ未開催分減
雑収入	20,000	20,000	0	
国際会議関係収入	20,370,000	0	20,370,000	5学会共催だが画像学会で管理 (前年度までの立替分清算含む)
④受取利息収入	20,000	20,000	0	
⑤寄付金収入	-	-		
事業活動収入計	57,260,000	43,040,000	14,220,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
会誌発行費	9,000,000	9,000,000	0	
研討・研究会開催費	3,700,000	7,600,000	-3,900,000	ICJ未開催。実績+新規1研究会で見直し
講習会開催費	2,400,000	3,000,000	-600,000	会場変更、大学出張講習新規開催
試験標準品作製費	3,000,000	2,600,000	400,000	昨年度までの推移を考慮
出版物作製費	650,000	2,500,000	-1,850,000	用語集改訂見送り、新規出版分を見直し
デジタル化費	950,000	1,600,000	-650,000	昨年度は一時的に未掲載論文のHPアップ費用発生
学会賞費	650,000	450,000	200,000	表彰件数増
諸委員会費	2,000,000	2,000,000	0	
理事会・評議員会・総会費	1,700,000	1,900,000	-200,000	実績も考慮して会場費圧縮
国際会議関係支出	17,250,000	3,800,000	13,450,000	5学会共催だが画像学会で管理
②管理費支出				
通信・運搬費	500,000	500,000	0	
事務費	1,850,000	1,750,000	100,000	実績で見直し
事務員費	10,300,000	10,000,000	300,000	引継ぎで一時的に増加
事務機械化費	300,000	300,000	0	
雑費	100,000	100,000	0	
租税公課	400,000	400,000	0	消費税として
管理諸費	60,000	60,000	0	
③法人税等	200,000	200,000	0	
事業活動支出計	55,010,000	47,760,000	7,250,000	
事業活動収支差額	2,250,000	-4,720,000	6,970,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
①器具備品取得支出				
器具備品購入支出	300,000	300,000	0	
②ソフトウェア取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	300,000	300,000	0	
投資活動収支差額	-300,000	-300,000	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①他会計振替収入	0	5,300,000	-5,300,000	
財務活動収入計	0	5,300,000	-5,300,000	今年度は実施なし
2. 財務活動支出				
①他会計振替支出	500,000	0	500,000	今後国際会議準備基金として積み立て
財務活動支出計	500,000	0	0	
財務活動収支差額	-500,000	5,300,000	-5,800,000	
IV 予備費支出	200,000	200,000	0	
当期収支差額	1,250,000	80,000	1,170,000	
前期繰越収支差額	15,186,320	15,603,891		
次期繰越収支差額	16,436,320	15,683,891		